

広報

No. 221

くさ

平成3年11月15日

発行・編集 国見町企画商工課

※※※おもな内容※※※

叙勲・町表彰	
おめでとうございます	2
平成3年度上半期財政公表	3
がんばれくさ	
ふくしま駅伝	4~5
地域の声を町政に	6
ふるさと文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12



秋空の下

タスキをつないで力走

'91 11月

第15回町内一周駅伝競走大会は11月10日、役場前をスタート・ゴールに行われ、一般の部にはオープンチームの町駅伝部をはじめ10チーム、中学生の部には3チームが出場しました。

大会は10区間、23.5kmのコースで競われ、選手の皆さんは、沿道に詰めかけた大勢のひとびとの声援を受けながら、中継所を目指して懸命に力走。一般の部では源山山チームが1時間19分16秒の大会新で優勝しました。

叙勲おめでとうございませう

穴戸三郎さんに勲六等単光旭日章 後藤昌伸さんに勲六等瑞宝章



穴戸三郎さん

穴戸三郎さん（森山字宮前18・七十歳）は、昭和四十六年に国見町議会議員に初当選以来、五期通算二十年の長きにわたって町議会議員として町勢伸展に尽力され、このたび地方自治功勞により叙勲の榮に輝きました。

その間、文教厚生常任委員長、副議長、公立藤田病院組合議長などの要職を歴任され、昭和六十二年五月からの二年間は、町議会議長として、その重責を果たされました。



後藤昌伸さん

後藤昌伸さん（川内字内上6・

六十二歳）は、昭和二十年から四十三年間の長きにわたり国見町消防団員として活躍、その消防団活動の功績により、このたびの榮えある叙勲となりました。

その間、第四分団長を務められ、火災の予防や消火活動、水害などの救助・復旧活動に尽力され、昭和六十一年の八・五水害では水防活動の指揮を執り、被害防止に尽力されるなど分団長として重責を果たされました。

故星輝男さんに

★勲五等瑞宝章

星輝男さん（山崎字西畑二三の二）は、昭和二十八年から三十八年間の長きにわたり、本町はもとより、本県の教育、特に特殊教育の進展に貢献されました。

大木戸小学校校長在職時には、町内校長会長などの要職を歴任し、平成二年三月退職されました。去る七月にご逝去された星校長先生の生前のご功績を称え、謹んでお悔み申し上げます。

故八島福太郎さんに

★勲六等単光旭日章

八島福太郎さん（高城字広前一〇）は、昭和二十二年から三十年間の長きにわたり、民生委員として保護世帯の更生指導、

平成三年度

国見町表彰式

町では昭和四十二年以来、町の発展と町民福祉の向上に献身されてこられた方がたを毎年、表彰してまいりました。近年、

社会、経済の変化にともない、表彰制度の見直しが求められ、本年九月国見町表彰条例を制定し、本町表彰制度の整備充実を図りました。

- 特に功勞顕著な方
- 佐藤 善次郎・岩谷 唯近
 - 穴戸 三郎・佐藤 元一
 - 遠藤 喜平・樋口 彌太郎
 - 高橋 勇記・齋藤 清
 - 佐藤 直哉・菅野 替郎
 - 大波 治男・武田 孟
 - 菊地 政治・松浦 義男
 - 佐野 正治・吉川 豊由
 - 本宿 尚・宮川 豊文
 - 菊地 太三・鴨田 安藏
 - 高橋 友義・藤田 勝衛
 - 佐久間 直次

◆功勞表彰

町政振興に寄与し、その功績が顕著な方

- 鈴木 正・朝内 俊雄
- 松浦 輝夫・高橋 昭一
- 菊地 孝一・佐藤 隆造

◆善行表彰

多年にわたり奉仕活動等により公務社会に寄与した方。また、公益のために土地、金員等を寄附された方

- 内池 和子・市川 公子
- 松浦 惣一・武田 太藏
- 八卷石材工業株式会社
- 株式会社小知和冷凍建設

◆榮譽顕彰

学術（和算の研究）において、本町の名声を高める等輝かしい成果をおさめられた方

- 法井 八夫

◆追彰

- 菊地 忠次

（平成三十年十月二十六日功勞表彰）

財政公表

一般会計は
16億6,307万7千円の支出

～平成3年度上半期の財政状況～

平成3年度上半期の財政状況
(九月三十日現在)を公表しま
す。

この財政公表は町条例の規定
によって行うもので、四月一日
から九月三十日までの収入及び
支出の概況、財産・公債費の現
在高などを公表するものです。
先月号でお知らせした決算報告
と同じように、町民皆さんの家
計に密着したつながりをもってい
ます。町の予算、財政がどのよ
うになっているのか、ぜひ、ご
覧になってください。
詳しく知りたい方は、役場総
務課においでください。どなた
でも閲覧することができます。

一 般 会 計 の 執 行 状 況	(歳入)				(歳出)			
	区 分	予算額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)	区 分	予算額(千円)	支出済額(千円)	執行率(%)
町	税	709,027	464,580	65.5	議 会 費	88,978	42,459	47.7
地 方	譲 与 税	97,900	18,195	18.6	総 務 費	1,724,828	473,220	27.4
利 子	割 付 金	10,749	12,595	117.2	民 生 費	228,550	108,557	47.5
ゴ ー ル フ	場 利 用 税	12,399	5,560	44.8	衛 生 費	421,880	208,617	49.4
自 動 車	取 得 税	45,000	16,709	37.1	農 林 水 産 業 費	292,858	85,473	29.2
地 方	交 付 税	1,750,000	1,277,131	73.0	商 工 費	28,628	20,858	72.9
交 通 安 全	村 策 特 別 交 付 金	2,080	1,106	53.2	土 木 費	421,463	131,706	31.2
分 担 金	及 び 負 担 金	16,306	8,118	49.8	消 防 費	141,937	82,007	57.8
使 用 料	及 び 手 数 料	32,913	18,717	56.9	教 育 費	1,029,473	391,257	38.0
国 庫	支 出 金	152,169	9,236	6.1	災 害 復 旧 費	10,506	0	0
県 財	支 出 金	106,645	8,573	8.0	公 債 費	243,482	118,923	48.8
財 産	取 入 金	412	43,464	105.5	諸 支 出 金	1	0	0
寄 附	入 金	101	100	99.0	子 備 費	6,000	0	0
繰 入	金	774,346	281,011	36.3				
繰 越	取 入 金	52,052	52,052	100.0				
諸 収	入 金	31,585	20,661	65.4				
町 債		844,900	0	0				
合 計		4,638,584	2,237,808	48.2	合 計	4,638,584	1,663,077	35.9

地 方 債 状 況	区 分	9月末残高(千円)
	土 木	630,384
	教 育	745,064
	公 営 住 宅	44,388
	児 童 福 祉	358
	農 林 土 木	47,040
	商 工	400,000
	保 健 体 育	98,749
	消 防 生 防	22,392
	衛 生	43,200
	災 害 復 旧	56,553
	総 務	28,300
	そ の 他	116,813
	計	2,233,241

町 税 状 況	区 分	予算額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)
	町 民 税	297,193	156,962	52.8
	固 定 資 産 税	346,409	264,651	76.4
	軽 自 動 車 税	12,877	12,899	100.2
	町 た ば こ 税	50,996	28,373	55.6
	特 別 土 地 保 有 税	1,552	1,695	109.2
	計	709,027	464,580	65.5
	国民健康保険税	298,459	151,361	50.7

特 別 会 計 状 況	会 計 名	予算額(千円)	収入済額(千円)	収入率(%)	支出済額(千円)	執行率(%)
	国民健康保険特別会計	737,056	357,965	48.6	220,066	29.9
	老人保健特別会計	574,285	280,576	48.9	247,056	43.0
	湖水対策施設特別会計	37,565	22,140	58.9	15,104	40.2
	貝田簡易水道特別会計	13,922	8,053	57.8	4,633	33.3
	育英事業特別会計	5,341	2,639	49.4	1,702	31.9
	入山財産区特別会計	8,291	3,204	38.6	3,077	37.1
	藤田財産区特別会計	870	684	78.6	473	54.4
	大木戸財産区特別会計	169	173	102.4	46	27.2
	石母田財産区特別会計	927	417	45.0	146	15.7
	公共下水道特別会計	140,212	45,642	32.6	43,713	31.2
	土地開発事業特別会計	891,500	520,731	58.4	307,087	34.4

第3回 福島県縦断駅伝競走大会

がんばれ く に み



11月24日 (日) 白河総合運動公園～福島県庁前

参加85市町村

一〇一キロメートルに健脚を競う

郷土の代表ランナーがタスキをつないで、福島県を縦断する「第三回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」(略称・ふくしま駅伝)が十一月二十四日、白河総合運動公園をスタートし、福島県庁前をゴールとする全長一〇一キロメートルのコースで行われます。

町民の皆さん、国見町チームへのご声援をお願いします。

ふくしま駅伝は、県民の体力の向上と平成七年に本県で開催される「第50回ふくしま国体」へ向け、中・長距離選手の育成・強化を目指し、十一月二十四日午前八時五分白河総合運動公園をスタートし、福島県庁前をゴ

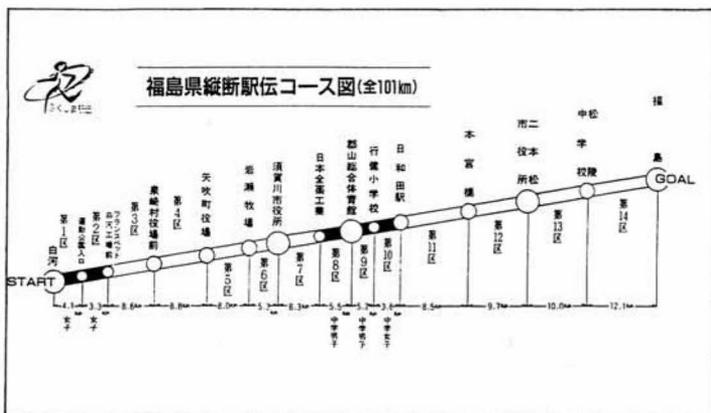
ールとする全長一〇一キロメートルを競います。

今大会には八十五市町村が参加し、女性ランナー三人を含む十四人の郷土の代表ランナーが健脚を競います。

国見町選手団の皆さんは、「国



▲昨年の大会 (ゼッケン13番…国見町・鶴田由香選手)



見町駅伝競走部」のメンバーを中心に、合同練習や三回の合宿をはじめ厳しい練習を重ね、走力・持久力の養成と、個人練習では得ることのできないチームワークの強化をはかり、十一月二十四日の大会に臨みます。

本町チームは七人の中学生をはじめ、若さとファイトにあふれたチームです。町の代表として、各選手とも持てる力を十分に発揮し、上位入賞を目指しています。町民の皆さん、力強いご声援をお願いします。



佐藤 恵選手
(県北中2年)



コーチ
兼選手 高橋 豊光
(丸鮮綱・36歳)

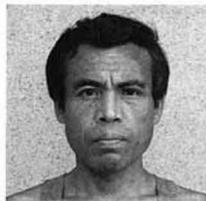


監督 八巻 忠義
(国見町役場・43歳)

国見町
代表選手
紹介



松浦 裕貴選手
(福島高1年)



村上 俊弘選手
(大室電業・45歳)



福島 史裕選手
(大岩機器工業所・29歳)



阿部 夏樹選手
(県北中1年)



佐藤真紀子選手
(県北中2年)



瀬戸 裕二選手
(県北中3年)



奥山 貴裕選手
(県北中3年)



松浦 孝紀選手
(福島北高3年)



吉沢三津夫選手
(大岩機器工業所・27歳)



鈴木 弘三選手
(福島自衛隊・32歳)



佐藤 温史選手
(福島東高3年)



佐久間光雄選手
(国見電子㈱・25歳)



中野 義夫選手
(大岩機器工業所・35歳)



関根 英樹選手
(福島日本電気・19歳)



阿部 善重選手
(県北中2年)



三木 郁絵選手
(県北中1年)

ふるさとの文化財 87

藤田宿

菊池利雄

藩(信夫海道之立札書並に駄賃定)では、藤田宿に検断がおかれ、南の桑折宿と北の貝田宿との間には、公私にわたる荷物の宿継が行われ、宿町としての整備が進められていった。

宝曆十一年(一七六一)の

「御巡見使案内」や、幕末の天保年間(一八三〇)に「藤田村絵図」によれば、宿町の長さは五町、戸数は鶴町・滑沢など

の百姓集落を含めて一四五軒、人口は七〇八人、馬は三〇匹、一と六のつく日は六歳市が立ち

在郷町としての側面を兼ねてい

た。桑折宿よりの宿町入口には道の両側に石垣で詰まれた木戸

が構えられ、町の中央を親月台の溜池から流れ出す小川によ

って、上町(南)と下町(北)に分かれ、上町は中沢川、下町は

鹿島神社脇で西根堰より取水した

街路場が宿町の用水として街道の

中央を、南北から流し上、下町

境の小川に落としていた。

町の西側には浄土宗警城郡山崎(現いわき市)の専称寺の末

寺大干寺があり、町尻の西側一段高き場所の東向きに明けの葉

師と、現藤田小学校に明けの葉が祭られていた。また、この葉師堂と鹿島社の別当寺である天台宗常楽院が南の町中にあり、

近世のはじめ岡村(現伊達町)より遷った修験極楽院の跡地であ

ろう。宿町中央部の西側には元本陣があり、その西南には高札

場が置かれていた。検断・名主職や問屋場を勤める家は時期に

よって異なるが、延享四年(一七四七)「藤田村差出帳」では

検断桑右衛門は名主を兼ね、勘右衛門は問屋を勤めていた。

幕末期の藤田宿における旅籠屋の数は時期によって一定しない

が、文政十一年(一八二九)飯盛女を抱えた二十七軒の旅籠

屋が、半田銀山の買石働きの者達を二夜もとめ、支払い不足の

者からは着物を預かったことが問題となり、一夜泊を厳守する

願書を銀山検断所に呈出しており、嘉永五年(一八五三)「藤

田村旅籠屋召抱飯盛女奉公人に付差出一札」には、旅籠屋十四

軒、飯盛女を招いて遊ぶ揚屋は十八軒を数えていた。藤田宿は

隣の代官所のある桑折宿とは異なり、庶民の宿町で近くの半田

銀山や、近村の若者達にとっては気安く遊べる在郷町として繁

昌したが、風紀上好ましくならぬこともあって、近隣の村々や半

田銀山の役元との間で問題となり、飯盛宿の自衛を約定した書類

類等も残されている。

参考文献「国見町史」

脱スバイクタイヤ

粉じんのない さわやかな まちづくり

冬の主役は

スタッドレスタイヤに

もう皆さんは、脱スバイクタイヤの心構えができましたか。スバイクタイヤとは、タイヤに金属性のピン(スパイク)を打ち込んだもので、凍結路での制動性能を高めたタイヤです。しかし、雪のない乾燥路でスバイクタイヤを使用すると、路面が削られ粉じんが発生します。この粉じんが風などによって舞い上がり、周辺住民の健康に悪影響を及ぼします。「せき込む」「たんがからむ」「息苦しい」「目が痛い」などの、いわゆる「粉じん公害」がそれです。

違反者は

十万円以下の罰金

こうしたスバイクタイヤの粉じんによる、健康や生活環境への悪影響を防止するため、昨年六月にスバイクタイヤ法(スバイクタイヤ粉じんの発生防止に関する法律)が成立しました。この法律は、粉じん公害のない脱スバイクタイヤ社会の実現

を目指すもので、環境庁長官が指定する地域では、原則としてスバイクタイヤの使用が禁止され、違反者には平成四年四月一日から十万円以下の罰金が科せられることになりました。

スタッドレスタイヤは、スバイクタイヤに代わって冬用タイヤの主役として登場するのがスタッドレスタイヤです。スタッドレスタイヤは、スバイクを使わないで凍結路などでの走行性能を可能な限り高めたタイヤです。低温でも硬くならない特殊配合ゴムを使い、溝の形なども工夫されているので、普通の雪道ではスバイクタイヤと同程度の性能を発揮します。その性能は年々向上しており、急発進をしない、控えめなスピードで走行するなどのタイヤの特性を踏まえた運転操作を行えば、冬道での安全運転が十分可能です。

粉じん公害をなくすためには、脱スバイクタイヤに対してみんなが理解を深め、協力をするのが非常に大切です。今年の冬は、スバイクタイヤをスタッドレスタイヤに切り替え、粉じん公害のない住みよい環境をみんなで作っていきましょう。



引揚者の方々に

内閣総理大臣名の書状を贈呈

平和祈念事業特別基金では、先の大戦の終戦に伴い、本邦以外の地域から引き揚げてこられた方々（「引揚者等」に対する特別交付金の支給に関する法律）による特別交付金の支給要件に該当した引揚者の方々に、対して、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

書状の贈呈は、請求に基づいて行うこととしておりますので、請求される方は請求書に記入のうえ、必要な書類を添えて「平和祈念事業特別基金」あて直接送付してください。

請求書類は、役場住民福祉課福祉係で交付しています。

◇請求の期間

平成3年9月2日～
平成8年3月31日まで

■請求・問い合わせ

〒112 東京都文京区大塚5-

3-13
平和祈念事業特別基金業務第2課引揚係
☎03-3994514703

老人保健

一部負担金が改正されます

老人保健法等の一部を改正する法律が、平成四年一月一日から施行されることとなりました。老人医療受給者が、医療機関の窓口で支払う一部負担金について、次のように改められます。

	平成3年12月末日 まで(現行)	平成4年1月1日 ～平成5年3月31日	平成5年4月1日 ～平成7年3月31日
外来	1月 800円	1月 900円	1月 1,000円
入院	1日 400円	1日 600円	1日 700円

児童手当制度の改正

平成4年1月1日から

一人目のお子さんから受けられます

子どもを健やかに産み育てるための環境づくりの重要な柱として、児童手当制度が改正されます。今回の改正では、いままで二人目のお子さんからは、支給されていた児童手当が、一人目のお子さんから支給されるようになります。

支給額は、一人目と二人目のお子さんが月額五千円、三人目以降のお子さんが月額一万円となります。支給期間も段階的に変更していき、最終的には、すべてのお子さんの支給期間が三歳未満となります。この改正は、平成四年一月一日から実施されます。

改正の主な内容

	現行	改正後
支給対象	第2子以降	第1子以降
支給期間	小学校入学前	3歳未満
支給額	第1子	5,000円(月額)
	第2子	2,500円(月額)
	第3子以降	5,000円(月額)

※支給期間については、経過措置として、第一子は平成三年一月二日以降に生まれたお子さんを対象とし、第二子以降は、平成四年次が五歳未満、平成五年次が四歳未満となります。

◇認定請求の日時・場所
平成3年12月3日～5日
住民福祉課福祉係

◇手続きに必要なもの
・印かん
・健康保険証
・年金加入証明(厚生年金等に加入している方のみ)
・父親名義の通帳(福島信用金庫国見支店又は福島国見町農協各支所)

■問い合わせ
住民福祉課福祉係
☎02111 内線134

お気軽に「相談ください」

特設人権相談所

十二月四日から十日までは、「第43回人権週間」です。町では福島地方事務局、福島人権擁護委員協議会と共催し、次のおり無料特設相談所を開設いたします。困りごと、悩みごとがございましたらお気軽においでください。相談内容はすべて秘密で無料です。

相談員は、人権擁護委員および

び法務局職員です。

◇開設日時

平成3年12月6日(金)
午前10時～午後3時

◇場所

国見町住民福祉センター

捜査活動にご協力を

桑折警察署からお願ひ
被害に遭ったら必ず届け出を

「被害が少ないから」とか、「面倒だ」と言わずに、届けてください。

早い一〇番が、早い解決の力になるのです。

◇聞きいただいた方にご協力を
おかけしないよう細心の注意を払いますから、積極的なご協力をお願いいたします。

桑折警察署
☎021151

11月 今月の納税

(納期限:12月1日)

固定資産税(第四期)
伊達西根堰土地改良区費(後期)
伊達西部土地改良区費(後期)

募集

県労働者文芸作品

県内に働く人々が勤労の余暇に制作した作品について発表の機会を提供し、県内文化の向上をはかることを目的に、次のとおり文芸作品を募集します。奮ってご応募ください。

◇種目

詩・短歌・俳句・川柳

◇字数等

詩：四百字詰原稿用紙三枚以内、二編まで
短歌：五首以内
俳句：五句以内
川柳：五句以内

◇応募上の注意

・用紙は原則として四百字詰原稿用紙を用い頭書に勤務先、住所、氏名(ふりがな)、年齢、

戸籍の窓口

(10月受付分)

出生おめでとございます

子	の	名	保護者	町内会
裕	子	ゆきこ	赤坂政晴	西前町
平	あゆみ	吉田大槻	光敏	谷東北
歩	あゆみ	鈴木良一	弘雄	山町
奈	江ななみ	高原沼田	一裕	三
愛	久美紀	佐藤	善浩	

結婚おめでとございます

氏	名	町内会
寺島	康守	四
藤	武美	東
藤	美一	三
伊	藤智	市
佐	伊藤	島
佐	伊藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	島
佐	藤	三
伊	藤	市
藤	藤	町
佐	藤	三



家庭教育講座

「祖父母学級」盛況

国見町公民館
☎85-2676
(有)4156

大枝小学校では十月二十六日全校児童と祖父母八十余名が講堂いっぱいになって、サークルボケットのお見さんたちの指導のもと元気にゲームや遊びに汗を流し、最後は講堂にシートを敷いて、お母さんらの心づくしの芋煮会での楽しい一日を過ごした。

いま、家庭では子どもの養育が祖父母に任かされ、世代間の



▲大枝小学校で行われた家庭教育講座

意識のずれなどでお互いに戸惑いを感じているとき、孫たちと一緒にゲームや遊びに打興じることにより、日頃の戸惑いや悩みも理くつを超えてうちとけ、家庭の明るさが保たれるものと思ふ。

大枝小学校でのこの「祖父母学級」はこうした意味でも大いに意義のある行事でした。願わくばこのような行事が学校だけ

で終らせないで、さらに小さな地域での行事として継続し、発展させてほしいものです。今こそおじちゃん、ばあちゃんの知恵袋を活かして、伝承的な遊びなどを復活させてはどうでしょうか。

子育てコーナー

「テレビの子ども」

子育て教室の開講のとき、保育所園児のお母さんを対象にアンケートをお願いして、貴重なご意見をいただきました。そしてこの「子育てコーナー」を読んでいる方が53%もありました。このご意見の中から①「テレビと子ども」をテーマに、②働いているお母さん(64%)が勉強しやすい時間帯をとというご意見をここで紹介して考えてみたいと思います。

第四回の教室で「絵本の楽しさを子どもたちに」というテーマで内池和子先生の講話をききました。一歳児からお母さんが子どもに絵本をよんでやったりしていること、子どもが本来持っている想像力を拡げて、楽しいファンタジーの世界にひたるとそれが豊かな心と能力をつくってゆく基礎になるということでした。しかしそれを阻害してい

るのがテレビということになります。テレビは一方的で圧倒的な時間の流れと情報量で私たちの想像力や判断力を抹殺してしまう魔力をもっています。子どもが育ってゆく環境の中では「見せてはならないもの」「きかせてはならないもの」が昔は厳然としてありました。しかし、今はおとなの身勝手から無差別な情報の洪水が現実です。要はテレビのスイッチを切るという簡単なことですが、それにはみんなが意識して協力し、気をつけてゆくことが必要です。

次につけてゆくことが必要です。日に働くお母さんのため、土曜日の夜にでも時間をとって、先生や先輩の話をきいたり、話し合ったりする「子育てを語る夕べ」のようなものを計画したらと思います。具体化したらお知らせしますのでぜひ参加して下さい。そしてこのコーナーでもその模様を取り上げて発展させていっただらと思っています。

鹿島神宮

村上 太一

昨年お参拝したお社だが、藤田の鹿島神社の本家位にしかかえていなかっただのが、成人学級の研修で阿部先生の御配慮に依り詳しい資料等揃えて戴き、

由来がよくわかり、有難さが倍増した。

広い参道、大きな桜門、廻りに昼尚暗い大きな老樹、行き届いた境内、戦前の官幣大社で二千数百年前神武天皇一八年開基と伝えられ、雷電の象徴である軍神武甕槌大神をお祀りされてあると言う。どことなくどっしりとした重みのあるお社に、深々と頭を垂れた。

そして、御本殿拝見台に立って、その色彩鮮やかに爛々金網を巡らした本殿の荘厳さに改めて礼拝した。

境内には古代からの老木に添木、引張りのワイヤーロープ等、生い繁る草木にまで心を配られている管理等、鹿島神社の本家だけのことはあると、改めて感心し、参拝を終った。



▲鹿島神宮前で記念撮影



▲明治初期に造られたためがね橋の上で

自然ふれあい教室
根本秋雄

秋の町民教室の一つとして、はじめて企画された「自然ふれあい教室」。

十月二十九日春日公民館長の案内で、参加者二十三名テラックスバスで出発。

小坂峠を経て、七ヶ宿ダムを左に見ながら、国道一三三号線をひた走る。七ヶ宿ダムも満々と水をたたえ、兩岸の彩とともに、自然美を競うかのよう。

最初の目的地橋下の宿探訪である。バスから降りて散策する。江戸時代大名行列の宿場として栄えた宿場も、一部を残すのみで、往時の面影が影を潜める様子は、何とも淋しいかぎりである。

自然ふれあい教室

根本秋雄

次は国指定の重要文化財旧尾形家住宅の観覧である。建坪一〇〇坪の大きな家で、寄棟中門切妻造り茅葺きの堂々たる構え。当時の人々の知恵と工夫の跡が各所にうかがわれ、驚きとそのすばらしさに感服する。

昼食は、地元産手打ちそばに舌つづみをうつ。また地酒「初孫」で喉を潤し語り合ったひとときは、思い出のアルバムの一ページを飾るにふさわしい。

昼食後のコースは、エコーラインを通り秋に浸る予定で出発する。

落葉が多く、秋の彩を観ることはできず、お釜、レストハウス付近は、はく息は白く冷たい風に、ふもとと頂上附近の温度差、自然の変わりようを肌で感じ、自然の偉力に今さらながら驚きいった次第である。

間もなくやって来る国見の里の冬ざれを思いながら帰路につき。

今回初めての企画がそうであるが、実のあるものであった。今後もぜひこの種の企画をお願いしたい。そしてもっと多くの人々の参加があればと思った次第である。館長さん、運転手さんいから御礼申し上げます。

体育の日、十月十日に町民体育館において恒例の婦人、高齢者運動会が実施されました。

当日は台風の影響で生憎の雨降りでしたが、農繁期であったのでかえって大勢の参加を得ることができました。

大会長の富永町長のあいさつ来賓を代表して町議会仲野議長町教委佐藤教育委員長の祝辞などがあり競技に入りました。

競技は、個人五種目、団体五種目、「マンボ踊り」などの演技があり、日頃の運動不足を少しでもカバーしようとして体育館一杯に走ったり、踊ったり、ゲームを楽しみました。

参加者一同、満足・満足？

婦人・高齢者運動会



▲全員で準備体操

行事予定表

月	日	曜	行	事	月	日	曜	行	事				
11	19	火	・秋の味覚教室（家庭料理）	備	行	4	水	・子ども移動図書館（大枝小）	・子ども移動図書館の活動内容は、本の貸出しと、11月カレンダーづくり、12月スライド				
	20	水	・帯ひもづくり教室			5	木	・中央婦人学級（ラッピング、電気教室閉講）					
	21	木	・子ども移動図書館（藤田小2年生）			6	金	・帯ひもづくり教室					
	22	金	・ボーリング教室開講			10	火	・ボーリング教室・子育て教室（食物と病気）					
	23	土	・子育て教室（幼児画の見方・描き方）			11	水	・成人学級（消費生活）					
	26	火	・少年仲間づくり教室（英国人とのふれあい）			12	木	・秋の味覚教室（会席料理）					
	27	水	・子ども移動図書館（小坂小）			13	金	・帯ひもづくり教室					
	12	1	日			・秋の味覚教室（精進料理）	備	行		12	木	・国見町、桑折町青少年育成剣道大会運営会議	・11月17日 スポーツ少年団駅伝競走大会
						・子ども移動図書館（藤田小3年生）				11	火	・ボーリング教室・子育て教室	
						・中央婦人学級（電子レンジ料理）				12	木	・国見町、桑折町青少年育成剣道大会運営会議	
						・子ども移動図書館（藤田小1年生）				13	金	・ボーリング教室・子育て教室	
・ボーリング教室				13	金	・阿津賀志学級（家庭教育）							
2	月	・町長杯家庭バレーボール大会	12	2	月	・子ども移動図書館（藤田小2年生）	12	24	日	・県縦断駅伝競走大会			
3	火	・子ども移動図書館（森江野小）	12	3	火	・子ども移動図書館（森江野小）	12	8	日	・伊達郡一周駅伝競走大会			



熱戦を繰り広げた 校内駅伝大会

秋晴れに恵まれた十月二十二日、県北中学校で校内駅伝大会が行われました。

文化祭行事の一環として開催されたこの駅伝大会には、クラス毎に編成された十五チームが出場。選手の皆さんは日頃の練習成果を発揮、クラスメイトの盛んな声援を受けながら力走しました。

上位入賞クラスは次の通りで



▲クラスメイトの声援を受けて

- 優勝 三年一組
- 準優勝 三年五組
- 第三位 二年二組

ゲートボールで 交通ルールを学ぶ

「ゲートボールを楽しみながら交通安全の意識を高めよう」と、桑折地区交通安全協会が主催した第七回桑折地区交通安全ゲートボール大会が十月十七日、大木戸の町民運動場で開かれました。

大会には国見、桑折両町から十八チームが出場。交通安全ののぼりが秋風にはためく中、コースの中央に幅二メートルの道路が設けられ、ボールは必ず横断歩道の手前で一度止めるから道路を通過させる、横断歩道を横切る



▲楽しみながらルールを確認

時は選手も左右の安全を確認して通るなどの特別ルールを取り入れ、和気あいあいのプレーを楽しみながら交通安全への理解と認識を深めていました。

- 優勝 藤田 A (国見町)
- 準優勝 本町 (桑折町)
- 第三位 あぶくま B (桑折町)
- 大木戸 B (国見町)

モー君

わが家へ

冷たい雨が降る町営牧場で十月八日、閉牧式が行われました。式には、高橋友義牧野利用組合長、富永町長、仲野周一町議会議員をはじめ、県や町の関係者、牧野組合員の皆さんなど約四十人が出席しました。

五月十三日の放牧以来、ことし生まれた十五頭を加えた牛たちは、高橋友義牧野利用組合長、富永町長、仲野周一町議会議員をはじめ、県や町の関係者、牧野組合員の皆さんなど約四十人が出席しました。



▲農家の人と一っしょにわが家へ

ちは、夏の間、雄大な自然の中でのんびりと過ごし、約五か月間の牧場での生活を終え、牧野を離れました。

サツマイモ掘りに おおよろこび

藤田保育所の子どもたちが十月二十三日、桑折緑風園の「ふれあい農園」で、サツマイモ掘りを楽しみました。

五月に緑風園のおじいちゃん、おばあちゃんたちと苗植えをしたもので、大きく育つのを楽しみにしていました。

さっそく畑の中に入った子どもたちは、土の中からつぎつぎと掘り起こされたイモを見つけるとは歓声をあげて大喜び。大きなイモを掘り起こし、持参したビニール袋いっぱいにつめ込んでいました。



▲おばあちゃんと一緒に楽しいサツマイモ掘り

イモ掘りのあと、用意されたサツマイモをこちそうになり楽しい一日を過ごしました。

勇壮に 鹿島神社例大祭

鹿島神社の例大祭が十月十九、二十日の両日、にぎやかに繰り広げられました。

みこしと若連が引く四台の山車が藤田の中心街を練り歩き、太鼓の音が鳴り響く中、勇ましくぶつかり合いました。この日は、祭りが最高潮に達するみこしの宮入りまで、多くの歓衆でにぎわいました。



▲勇壮なみこしと山車とのぶつかり合い

編集日記

○11月24日に行われるふくしま駅伝。わが町からも激しい練習に耐えてきた選手の皆さんが出場。力強い声援をお願いします。